

聖剣♂バトル

世田谷ち○ぽ健康家族

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ここは、漢ならば誰しもが持っている聖剣♂で全ての秩序が決まってしまう世界。聖剣♂の中にはスキルとよばれる特殊能力を持つ物もある。

そんな世界で並の大きさと特殊なスキルを持つ槍木珍太郎はどう生きていくのか？

目次

漢と聖劍♂

1

漢と聖劍♂

おっす、みんな。

まずは自己紹介からだな。

俺の名前は槍木珍太郎（やりもくちんたろう）、

年齢は今年受験の18歳だ。

とりわけ優秀な所とかある訳じゃないけど自分の聖劍には満足してるぜ。

ん？聖劍って何かって？そりゃあ男なら、いや漢なら誰しもが一本持つてる最強の武器だよ。

え？ただのち○ぽごときを何カッコつけて威張ってるのかって？

いや、この全ての秩序が聖劍で決まる世界ならそれは何よりも重要だろうが！

ちなみにサイズは通常時は9センチ。戦闘態勢時に15センチ。

これだけ見るとたいしたことないように思うじゃん？

俺のイチオシポイントはそこじゃあねえんだ。

みんなのためにせっかくだから教えてやろう。

俺の聖劍には「スキル：如意棒」が備わっているのさ。

まあ名前から想像できるように、伸びたり縮んだりが自由自在ってわけさ。まあこれがどうすごいのかは後々わかるだろう。

あつやべえ、そんなこと説明していると時間がどんどんなくなっちゃまう。

これから毎朝の日課である聖劍磨きをしなければならぬのさ。

男たるもの、いや漢たるものいつでも聖劍を使えるようにしておかなければならぬだろう？

まあ偉そうにしてもこちとら女の鞆に聖剣をしまっ通称鞆ハメの儀式もしたことがない正真正銘の☆童貞☆だな。

よし、じゃあ少し待っていてくれ。

――3分後――

ふう、待たせたなお前たち。

え？磨くのが随分早すぎるじゃないかって？
ことドアホ！そ、そ、早漏ちやうわい！

それを言うならなあ、友達の矢部なんて3磨きで終わってしまうんだぞ。それに比べたら全く悪くないだろう。

そもそも早漏の何が悪いってんだ！

あ？だいたいな、快樂のために鞆ハメの儀式をするのなんて人間くらいだぞ！

他の動物は厳しい野生の環境の中で悠長に鞆ハメをしている暇なんぞないからな、中には数秒で儀式を終わらせてしまう種もいるくらいだ。

どうだ、そう考えるとむしろ早漏というのは実に野性味に溢れているだろう。

矢部なんてきんぐおぶわいるどではないか。

まあいい。そろそろ学校に向かうとしようか。

なんだと？まだ質問がある？

お前の聖劍は皮を被っているのかだつて？

こちら俺のスキルと同じく剥く剥かないは自由自在だぜ！… まあつまり仮性つ

てことだな。

そもそも仮性の何が悪いってんだ！

ズル剥けなんぞパンツという文明に犯された人間の権化ではないか！

だいたいな野生の動物は（以下略

まあいい。本当にそろそろ学校に行かないと遅刻してしまう。

それじゃあな。